

2022-2023 日本語・日本文化研修留学生報告書

# 日本語・日本文化レポート集

2023年9月

東北大学高等教養教育・学生支援機構

言語・文化教育センター

# 目 次

|   |  |
|---|--|
| 日本のアニメーション作品から観た地震への思い<br>.....                 | 1  |
|   | 宋蕙旻 / SONG Hyemin<br>(韓国, 漢陽大学)                |
| BL マンガにおけるファンタジー概念の登場<br>—2010年以降の作品を中心に— ..... | 9  |
|   | サーサイ・カーンチャナー / SASAI Kanchana<br>(タイ, タマサート大学) |
| 韓国と日本の小学校におけるいじめ態様の比較<br>—新聞記事の調査から— .....      | 15   |
|   | 鄭眞溶 / JEONG Jinyoung<br>(韓国, ソウル神学大学)          |

# 日本のアニメーション作品から見た地震への思い

宋蕙旻 (SONG Hyemin)

(韓国・漢陽大学)

## 1. はじめに

「日本」といえば、代表的なイメージとして思い浮かぶのが「地震」と「アニメーション」(以下アニメ)である。

地震一つの継続時間は1分前後であるが、その後も、更なる地震や津波、地殻変動などの様々な災害を伴うため、とても危険な自然災害である。これまで韓国で起きた地震はそれほど多くない。そのため、韓国の地震に対する危機意識や対処方法が不十分であると感じた。2016年の慶州(キョンジュ)地震、2017年の浦項(ポハン)地震以前までは韓国で地震に関する情報を得られるところがほとんどなく、2020年になってから気象庁が運営する地震関連 YouTube チャンネルが開設されたくらいである。

アニメは日本の代表的な文化コンテンツであり、日本を眺めることができるもう一つの視点だと思う。アニメの表現力には限界がなく、年齢や国籍を問わないほどの影響力がある。以下は筆者が「せんだい外国人防災リーダー育成研修」に参加し3.11の被災地である名取市を訪問した際の被災者からの話である。

「君の名は」は新海誠が3.11後の名取市を訪問した後に作られた作品。

みんなに逃げろと叫んでいた登場人物の‘なとり’の名前は名取市からつけられたのではないかと思う。

あの日のことを覚えてくれてるようで嬉しかった。

そこで、地震を扱っているメディアを通じて、自然災害が日本社会に与える影響と、日本では、これらをどのような考え方で見ているのか解かれればと思った。

## 2. 研究目的

本研究では、日本のアニメーション作品における地震災害の表現について調査し、そこから地震に対する日本人の意識を明らかにすることを目的とする。本研究により、災害が多い地域での人々の暮らしへの理解を深め、人と災害の付き合い方についてより成熟に向き合えるきっかけになればと思う。

## 3. 研究対象

まず、本研究では「震災」と「アニメ」を結びつけて考察するため、地震を語るアニメと、地震を語らないが関係性を持つアニメの二つに分けそれぞれの特徴について分類する。地震を語るアニメに当たる場合、各アニメが地震をどのように描いているか視覚的表現を中心に考察する。地震を語らないが関係性を持つアニメに当たる場合、各アニメが地震とどのような関係

を持っているか、どのように活用されているかを中心に考察する。

## 4. 結果

### 4.1 地震を語るアニメ

#### 4.1.1 「東京マグニチュード8.0」

##### (1) 概要

2009年7月10日から9月18日までフジテレビで放送されたTVアニメである。ある夏休みのお台場、ロボット展を見に行った弟の悠貴と付き合い合わせた未来。その時、突然東京を襲ったマグニチュード8.0の海溝型地震。連絡橋は崩れ落ち、東京タワーや建物が次々と崩壊。お台場で出会ったバイクライダーの真理と力を合わせ一緒に自宅へ向かう。つまり、東京に大型の地震が発生したと想定し、被災者の目線で物語が進んでいくアニメである。

フィルムコミックの最終ページによると作品での被害設定は以下の通りである。(表1)

表1 作品での地震及び被害の設定

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 発生日時  | 2012年7月21日、15時46分頃   |
| 震源地   | 東京湾北部                |
| 地震の形態 | 海溝型                  |
| 震源の深さ | 約25km                |
| 地震の規模 | M8.0                 |
| 最大震度  | 震度7(東京湾北部周辺)         |
| 死亡者数  | 推定18万人(2012年7月23日時点) |
| 行方不明者 | 15万人(同上)             |
| 重軽傷者  | 20万人以上(同上)           |
| 帰宅困難者 | 推定約650万人             |

マイナビニュースでの橘正紀監督のインタビューによると、この作品にリアルさについて、

「地震が起こったときに、建物がどうなるのか？そして実際に行政がどう動くのか？といったところは、プロデューサーの皆さんかなり細かく取材をしてくれています。ただ、今回の主人公は中学生の女の子なので、地震が起こったときに、国や政府が何をしてくれるかというところには、まず考えがいたらないじゃないですか。自分の目の届く範囲が自分の世界のすべてである中学生の女の子が、こういった状況で何を感じるのだろう、というところは一番みんなで話し合ったところですね」

と述べた。

## (2) 用語

### マグニチュード

気象庁ではマグニチュードについて、地震そのものの大きさ（規模）を数字で表し、その数字は震源から出てくるエネルギーの大きさから決まる、そして、数字が大きくなるほど大きい地震を指すと述べている。

### 震度

気象庁では震度について、ある場所での地震による揺れの強さを数字で表し、同じ規模の地震であっても、震源からの距離や地盤のゆれやすさなどで、震度として測定される揺れは異なると述べている。そして、その深度は規模が大きい地震でも震源から遠くなると小さくなるという特徴がある。

韓国ではマグニチュードの代わりに同じ意味を持つ「規模」を使っている。ニュースや記事のタイトルでは「規模」を表記することが多く、その場合、記事内で「震度」の説明と共に地域別震度の数値を記載している。韓国は日本と比べ地震の発生頻度が低く、その分、地震用語に触れる機会も少ない。そのため、マグニチュードという用語は地震に対する知識が低い一般人には伝わらない可能性が高い。また、「規模」と「震度」を混同し、NAVERの知識 iN<sup>1</sup>に二つの用語の定義を聞く投稿も多く見られる。

## (3) 描写

表2 「東京マグニチュード8.0」1話から11話までのストーリーと描写

| 話数 | サブタイトル | 震災   | 描写  |
|----|--------|------|---|
| 1  | お台場、沈む | 日常   | ①学校、夏休みなどの平凡な日常<br>②主人公たちの性格を表している  |
| 2  | 壊れる、世界 | 地震発生 | ①お台場に地震が発生<br>②最初の地震からの被害<br>—橋や建物、他にも地上のすべてが揺れる、中には破れたものもある<br>—中心を失い人道を襲う車なども見かける<br>—建物のガラスが割れる<br>—橋の崩壊、マンホールからの逆流、建物の中で火災や浸水が発生<br>—建物から外へ避難する人たち。警備員が誘導する<br>③何分おきに、余震が発生<br>—更に建物の崩壊が起こる<br>④広場で避難 |

<sup>1</sup> 韓国最大級のポータルサイト。知識 iN(韓国語表記: 지식 iN)は Q&A 用のカテゴリーである。

|   |        |                   |  |
|---|--------|-------------------|--|
|   |        |                   | <p>⑤電波は切れ、一部の携帯電話で流れるテレビから情報を得る</p> <p>▲「(省略)・・・関東地方を中心に大きな地震がありました。この地震の震源地は東京湾北部。震源の深さは約25キロ。地震の規模を示すマグニチュードは8.0と・・・」「マグニチュード8・・・?」「余震や津波に十分ご注意ください。・・・」</p>   |
| 3 | 燃える、橋  | 2日目               | <p>①コンビニで飲食物を配る</p> <p>→コンビニだけではなく、自動販売機でも無料配布になることがある。</p> <p>▲「うお！おにぎりだ！」「未来ちゃんもよかったら食べて。飲み物もあるわよ。」「これ、どうしたんですか。」「非常時にはコンビニが食べ物をくれることもあるっていうのを思い出して。行ってみたんだ。」</p> <p>→マイナビニュースでの橋正紀監督のインタビューによると、「実際に地震が起こったら配っちゃうらしいですよ。コンビニの商品は賞味期限が非常に短いので、置いておいても仕方ないし、ガラスを割られて盗まれるくらいならドアを開けてどうぞって配ってしまうほうが良いということらしいんですね。そのほか、災害に対応している自動販売機は、電気が切れたらボタンを押すだけでジュースが出るようになっているとか、調べてみると面白い話がたくさんあるんですよ。こういった話も、すべてというわけではないですが、できるだけ盛り込んでいきます」と作品にこのシーンを取り入れた理由を述べた。</p> <p>②車などの道路通行止め</p> <p>③お台場から船や水上バスで避難</p> <p>④自分の安否だけを考える人間の描写が増える</p> <p>—倒れてる人を助けず港まで急ぐ人</p> <p>—出航した船に乗るため飛び込む人</p> |
| 4 | 三人の、約束 | 2日目<br>公園の<br>避難所 | <p>①避難用品の登場</p> <p>—携帯トイレ</p> <p>—携帯食</p> <p>—EMERGENCY PACK</p> <p>②避難所の様子</p>  |

|   |         |                    |  |
|---|---------|--------------------|--|
|   |         |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>—避難用品の配り</li> <li>—道内の地震被害の情報</li> <li>③人間の描写 <ul style="list-style-type: none"> <li>—トイレの待ち列に割り込む人</li> <li>—泣いている二人をみて声をかけてくれる優しい人</li> </ul> </li> <li>④続く余震 <ul style="list-style-type: none"> <li>—東京タワーの崩壊</li> </ul> </li> </ul>   |
| 5 | 慟哭の、学び舎 | 2日目<br>中学校の<br>避難所 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①中学校の避難所に到着 <ul style="list-style-type: none"> <li>—避難所・霊安室に使用される</li> </ul> </li> <li>③人間の描写 <ul style="list-style-type: none"> <li>—家族を失い悲しいはずが、避難所の人たちを助け、優しく接するおじいさん</li> <li>—ボランティアの人たち</li> </ul> </li> </ul>  |
| 6 | 見捨てる、選択 | 3日目                | ①体力的限界が目立つ   |
| 7 | 夏の夕暮れ   | 3日目                | <ul style="list-style-type: none"> <li>①保久現場が描写 <ul style="list-style-type: none"> <li>—レスキューロボの登場</li> </ul> </li> <li>②弟の体調不良</li> <li>③人間の描写 <ul style="list-style-type: none"> <li>—雨を避けられるよう場所を提供してくれる人</li> </ul> </li> </ul>  |
| 8 | まっしろな朝  | 3日目<br>4日目         | <ul style="list-style-type: none"> <li>①病院 <ul style="list-style-type: none"> <li>—トリアージで患者を分類する</li> </ul> </li> <li>②悠貴を病院へ連れて行く、死亡を確認する夢から目を覚ます未来 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ただ、真理の表情や言動から悠貴は死亡したように考えられる。</li> <li>▲「未来ちゃん」「はい?」「ご両親には私が伝言ダイヤルでメッセージ残しておいたから」「あ、そっか。そういうのあったんだ。パパたち、ちゃんと気づくかな。」「ごめんね。三茶(三軒茶屋)によったらすぐ未来ちゃんち行こう。悠貴くんのご事は後でちゃんと…」「大丈夫ですよ。わかってますから。今は元気そうにしていますけど、ちゃんと検査しないとだめですよ。(中略)弟の面倒はちゃんと私が見ますから。」(悲しそうな顔で未来を見る真理)</li> </ul> </li> </ul> |
| 9 | 今日、さよなら | 4日目                | <ul style="list-style-type: none"> <li>①2次被害を受けた住宅街の様子</li> <li>②家族と再開した真理</li> </ul>  |

|    |            |     |  |
|----|------------|-----|--|
|    |            |     | <p>→病院の人手不足で動きにくい状況になる。</p> <p>③未来は真理へメモを残し、家に向かうトラックに乗る</p> <p>▲「真理さんへ。ここまで本当にありがとうございました。真理さんが居てくれなかったら、きっと、ここまで辿り着けなかったと思います。(中略)でも、落ち着いたら悠貴と一緒に必ず会いに行きます。真理さんのこと、絶対に忘れません。」「未来ちゃん… ‘一緒’ って…」(悠貴のカバンを持ってトラックが去った場所で立ってる真理)</p> <p>←この時、トラックに乗ってる悠貴はカバンを持っていた。つまり、未来はまだ悠貴の死を受け入れられてないと考えられる。</p> |
| 10 | おねえちゃん、あのね | 4日目 | <p>①友達に会う</p> <p>②悠貴の死を受け入れてないため、学校で悠貴の友達と悠貴を探し回る</p> <p>→【私たち】という言葉を使い続ける</p>   |
| 11 | 悠貴へ…       | 数日後 | <p>①悠貴の死亡を認知</p> <p>→未来と悠貴が並んで歩いているシーン。未来は夕日による影が描かれているが、悠貴は全く影が映らない。</p> <p>②両親に会う</p> <p>③まだ悠貴をなくした悲しみに溺れている未来</p> <p>④真理の訪問</p> <p>悠貴のカバンと捨てたはずの未来の携帯を渡される</p> <p>④生活は日常に戻ったが、建物のなどは復旧作業は続いている</p>  |

#### 4.1.2 「すずめの戸締まり」

2022年11月11日に劇場で公開されたアニメーション映画である。九州で暮らす17歳の少女、鈴芽はある青年に出会う。扉を探しているというその青年を追いかけた鈴芽は謎の扉を発見。それは「ミミズ」と呼ばれる災いを呼び込む扉であった。次々と開かれる扉を閉めるため、青年とともに戸締まりの旅が始まる。

このアニメは地震がメインテーマではないが、①主人公の鈴芽が地震の被災者、②ミミズの現象が地震と同様、③作品の背景地が地震の被災地で、オマージュされたシーンがある、という三つの特徴から地震を語るアニメとして取り上げた。

更に、NHK 福島 WEB 特集での新海誠監督インタビューによると、

12歳になる娘は当然ですが震災の記憶がない。それでも映画を見て「面白かった」「泣いた」って言ってくれたんです。僕のメインの観客は10代で、場合によっては観客の半分近くが震災を知らないということもあり得る。でもこの映画を見ることで、東日本大震災というのは教科書の出来事ではなくて、自分たちとつながっている出来事なんだと若い世代に知ってもらえたら、それはエンタメにしかできない仕事なんじゃないかと思っています。

と作品や震災に対する思いを述べた。

## 4.2 震災を語らないが関係性を持つアニメ

### 4.2.1 被災地の復興のために作られたアニメ

#### (1) 「なつなぐ！」(熊本)

ウォーカープラスの記事では、この作品の特徴について以下のように述べている。2020年1月から3月までTOKYO MX、熊本放送にて放送された熊本県制作のアニメである。2016年の熊本地震の復興支援の一環として作られた。主要スタッフ、出演声優の多くが熊本県出身者である。自治体が1クール全12話のアニメ作品を制作し地上波で放送するのは本作が初めてであった。

#### (2) 「みらいへの手紙～この道の途中から」(福島)

PRTIMESの記事では、この作品の特徴について以下のように述べている。2016年2月に福島県公式YouTubeで配信されたアニメである。東日本大震災から5年を迎え福島の思いを伝えるために作られた。内堀雅雄福島県知事を筆頭に、県が取り組んだプロジェクトである。自治体初となるドキュメンタリーアニメーションである。

### 4.2.2 被災地復興のために使われるアニメ

#### (1) 「夏目友人帳」

アニメ「夏目友人帳」公式サイトには以下のあらすじが掲載されている。

小さい頃から妖怪を見ることができた少年・夏目貴志は、祖母レイコの遺産「友人帳」を受け継ぎ、自称用心棒のニャンコ先生と共に、そこに名を縛られた妖怪たちに名を返す日々を送る。妖と、そこに関わる人との触れ合いを通して、自分の進むべき道を模索し始めた夏目は、想いを共有できる友人たちにも助けられながら、大切な日々を守るすべを見つけていこうとする。(白泉社)

アニメの舞台である熊本県人吉市が令和2年7月豪雨の被災地になった。アニメの人気を利用し「聖地巡り」として街とコラボレーションをした。観光商品とし、街の経済復興のためになることを図っている。

## 5. まとめ

韓国で制作されるアニメは7歳児以下の子供向けの娯楽または学習用に向けられた作品がほとんどである。そのため、韓国製アニメは視聴者が限られ、テーマの拡張に限界がある。日本のアニメは韓国と比べターゲットとする視聴者の幅が広く、その分多様なテーマで制作できるという長所が発揮されていると考えられる。

「東京マグニチュード8.0」のように地震そのものを語るために制作するだけではなく、「なつなぐ!」のように復興政策の一環として制作することや地震とは関係ない人気アニメの背景地という特徴をいかすことなど、日本だからこそ可能な地震と人の共存方法だと思った。

研究対象としたアニメの数が少ないという限界がある。より深い考察のため、アニメの数を増やし、東日本大震災を基準に前後のアニメの特徴に関する研究も必要だと考えられる。

## 参考文献

- 朝日新聞 (2022) 『「結局、僕はずっと震災のことを考えてきた」新海誠監督、新作公開』  
<https://www.asahi.com/articles/ASQCG63V7QCCUCVL043.html> (2022年11月16日)
- ウォーカープラス『日本初の“自治体発”1クールTVアニメ『なつなぐ!』製作舞台裏、「熊本にできることは」の思いが結実』<https://www.walkerplus.com/article/215916/> (参照2023年6月2日)
- NHK 福島『映画「すずめの戸締まり」新海誠監督インタビュー エンタメで災害を描く その思いは?』<https://www.nhk.or.jp/fukushima/lreport/article/000/25/> (参照2023年5月31日)
- 気象庁『震度・マグニチュード・地震情報について』  
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/faq/faq27.html> (参照2023年07月20日)
- 白泉社『夏目友人帳』作品概要 | アニメ 夏目友人帳 公式サイト <http://www.natsume-anime.jp/about/> (参照2023年6月21日)
- トマイナビニュース『橋 正紀監督が語る作品の見どころ - ノイタミナ『東京マグニチュード8.0』7月9日スタート』<https://news.mynavi.jp/article/20090623-noitamina/2> (参照2023年7月20日)
- PRTIMES 『チャレンジふくしまプロジェクト『みらいへの手紙〜この道の途中から〜』地方自治体初、実話を基にしたオムニバスドキュメンタリーアニメーション』  
[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000017073.html](https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000002.000017073.html) (2016年1月8日)

# BL マンガにおけるファンタジー概念の登場 —2010 年以降の作品を中心に—

サーサイ・カーンチャナー (SASAI Kanchana)  
(タイ・タマサート大学)

## 1. はじめに

同性愛やジェンダー概念が世界で取り上げられるようになり、様々な形で話題となる中、マンガ、ゲーム、小説、ドラマ、映画、様々なメディアに登場している「BL (ボーイズラブ)」というジャンルが世界中に広がりつつある。

BL というジャンルの中でも、最も幅広く知られているのは、日本の「マンガ(漫画)」においてである。主に読者は日本人女性が多いが、日本だけでなく、世界に愛読者が多い。日本だけでなく世界的なものになったことで、日本の BL マンガは様々な言語に翻訳された。例えば近年、多数の日本の BL マンガはタイ語にも翻訳され、タイの市場で販売されている。実際に、BL マンガはサウンドドラマ化、アニメーション化、ドラマ化、様々なメディアでも作品化されてきた。

BL (ボーイズラブ) というジャンルは「女性による女性のための男同士のラブストーリー。性描写あり。」(西村 2015, p. 11) と定義されている。日本における男性同士の恋愛の作品は 1970 年代頃に生まれ、50 年以上の歴史がある。日本のポップカルチャーを代表するものの一つ、「マンガ」を通して、女性の観点から見た男性同性愛はどのように表現されてきたかという疑問が本研究を行うきっかけとなったと言える。

BL マンガの中でも、ファンタジーがテーマとなった作品が近年増加している。例えば、人外の生き物との恋愛関係、異世界転生、男女に加えて二つ目の性別が存在する世界など、様々な物語がある。これらの作品を読むことで興味深くなり、ファンタジー概念が用いられた作品の制作と消費には社会の人々の考え方がどのように反映されているかを解釈したいと考えた。本研究では、BL マンガが多様化してきた 2010 年代以降の作品のうち、ファンタジー概念を用いた作品に社会的背景がどのように反映されているかを考察し、BL マンガは社会のどのような役割を果たしているのかを明らかにすることを目的とする。

## 2. BL の歴史

### 2.1 BL 前史：1970 年代

BL 前史にあたる 1970 年代について、石田 (2020) をもとに次のようにまとめた。

1970 年代、BL という言葉は存在していなかった。1970 年代初頭、少女マンガ誌に男性同士の性愛物語が登場した。『別冊少女コミック』1970 年 12 月に竹宮恵子の「雪と星と天使と…」(のちに「サンルームにて」と改題) というマンガが掲載された。その後、竹宮により様々な少年同士の恋愛の作品が少女マンガ誌に断続的に発表された。竹宮はこれらの作品を「少年愛」と名付けた (pp. 18-19)。

## 2.2 1980～1990年代

続く年代については、西原（2020）をもとにまとめた。

1970年代末から1980年代にかけて、3つの女性向けのメディアに男性同士の関係を描いた作品が掲載されていた。1つ目は、大手出版社のマンガ雑誌である。これらの雑誌には、1970年代では少年愛の人気作品が掲載されていたが、1980年代に入ると性的な作品よりも、男性同士の強い絆を描いた作品が増えたとのことである。2つ目は、大衆的雑誌ではなく、マニア向けのサブカルチャー誌である。これらの雑誌の特徴は、小説やマンガだけでなく、映画、音楽、演劇などの情報も掲載されていた。よって、これらの雑誌で掲載された男性同士の恋愛の作品は「耽美的」なものとして扱われていた。1980年代以降の男性同士の作品の広がりには大きな影響を与えたのは、これらの雑誌であった。3つ目は「同人誌」である。同人誌でとても人気であったのが、「二次創作」（ファンが既存の作品のキャラクターを用いて物語を作ること）の作品である。男性キャラクターが同性愛者として描かれた同人誌が多く出版されていた。（西原 2020, pp. 40-44）以上のことから、男性同士の恋愛の作品に人々の注目が集まり始めたころであることがわかった。

また、西原によれば1980年代末から1990年代前半の頃は、男性同士の恋愛が描かれた女性向けの雑誌が次第に生み出されていったという。そして1991年に「ボーイズラブ」という言葉が初めて登場した。しかし、その言葉はまだ広まっていない。この頃の作品は、少年愛や耽美の時代によく見られる非日常的なものではなく、高校生活などの日常的なものが多く描かれるようになった（西原 2020, pp. 45-48）。

1990年代後半では、「ボーイズラブ」というジャンルの形成が確認できる時代と言える。この時期は、現代日本の学校や会社における恋愛や性愛が描かれるた作品が多く、物語の展開はほぼハッピーエンドであった。また、作品における「攻」と「受」の見分けがしやすくなり、性表現を描いたシーンが重要なものとなってきた（西原 2020, pp. 48-50）。この頃の作品は、前の時代と異なって、「耽美」の目線から読むのではなく、男性同士の「恋」を楽しめることがメインとなったことがわかった。

## 3. 2000年代～2010年以降のBL

インターネット普及の影響により、BLマンガは大きく変化してきた。近年、BLマンガはウェブサイトやアプリケーションなどで電子書籍の形で簡単にアクセスできる。そのため、日本だけでなく海外のBL愛好者が増加したことが見られる。よって、BLマンガは多言語に翻訳されてきた。

1980年代～1990年代の「攻」<sup>2</sup>と「受」<sup>3</sup>の特徴を見ると、「攻」は背が高く男前であり、それに対して「受」は背が低く可愛いキャラクターというステレオタイプが存在する。しかし、2000年代以降はそういった作品も生み出されてはいるが、攻・受のステレオタイプのイメージがほとんどないか、または真逆になった作品も徐々に登場している傾向にある。この時期のBL

---

<sup>2</sup> 攻：性行為の際に挿入する者を指す

<sup>3</sup> 受：攻の反対で、性行為の際に挿入される者を指す

マンガのキャラクター設定や物語の設定が多様化したことが見られる。以前から定番となった学園ものや社会人ものは無論、未だ人気が高いと思われる。その他にも、歴史上の人物に基づいて作られた作品や、ファンタジーものなども存在している。本研究では、作者の想像から生み出したファンタジーものに注目し、次の項目にファンタジーものにおける設定の例と作品を紹介していきたい。

## 4. ファンタジーものにおける設定の例と作品紹介

### 4.1 獣人・人外

獣人とは、動物と人間の特徴を併せ持つ生き物のことである。例えば、普段は人間の姿だが、必要に応じて他の生き物に化けることができるもの、姿は動物（狼など）だが、二足歩行で、言語能力も持っているものなどである。また、人間の姿に部分的に動物の耳や尻尾などがついているものもある。そのような作品では、獣人同士が主人公となり、ファンタジーの世界で物語を展開するものがあり、現代日本の社会をもとに物語を展開するものもある。佐倉リコの『オオカミくんはこわくない』（KADOKAWA 2018）は、現代日本の学校における恋愛物語である。キャラクターは全員動物から進化してきたものであり、二つの姿がある。一つ目は、人間の姿でありながら、自分の種の耳と尻尾がついている。二つ目は、力が抜けた時に元の動物の姿に化けてしまう姿である。また、動物のように発情期がある。マンガにおける学校の特徴は、肉食系と草食系のクラスに分かれている点である。そこで肉食系と草食系の主人公2人が出会って恋愛物語を展開するようになる。羽純ハナの『レムナント―獣人オメガバースー』（フロンティアワークス 2017）では、人間と二足歩行の狼のような姿をしている獣人の恋愛物語であり、「オメガバース」（4.3 で説明する）のテーマも用いて男性同士の主人公の出産・育児の様子が描かれた物語である。

また、「獣人」の作品は「人外」というジャンルにも取り扱われることがあるため、人外というジャンルも説明していきたい。人外とは、人間ではない種族のものである。人外に含まれる作品は幅広く、上述の獣人ものもあり、ヨーロッパの神話や日本の神話の魔物、ロボットなども含まれている。例えば、エンゾウの『不幸中のしあわせ』（集英社 2014）では、幸運に恵まれたサラリーマンと疫病神の恋愛物語が描かれている。

### 4.2 異世界転生

漫画におけるいわゆる異世界ものという分野は、現実世界ではなく、別の世界（主に魔法が使える世界）を舞台とした物語のことである。エスカンド（2022）の説明によれば、異世界の定番のパターンは、社畜、ひきこもりなどの社会的に報われない人が、記憶と性格を残したまま、魔法の存在するヨーロッパ中世世界に転移、または転生するといったパターンである（p. 39）。

異世界は最初ライトノベルでよく見られるジャンルだったが、近年はマンガにも大きな影響を与えている。BL マンガにおける異世界をテーマとした作品が 2010 年代後半から増加してきたことが見られる。例えば、となり雪見の『異世界召喚！魔王がパパで俺がママ！？』（徳間書店 2021）では、人生の不満を抱えたニートの主人公がゲームの世界に行きたいと願って、目覚めるとゲームの世界に転生し、その世界の魔王との恋愛が始まる。また、潜えむの『Ωにだけ

はなりたくない!! ～異世界転生したら姉の BL 漫画の中でした～』(ふゅーじょんぷろだくと 2021) は、主人公が BL 作家の姉のアシスタントであり、ある日トラックに轢かれて姉の BL マンガの世界に転生してしまい、マンガの金持ち主人公に出会い、恋愛物語が展開するマンガである。

#### 4.3 妊娠する男性 (オメガバース)

オメガバースとは、「欧米で発祥した BL における特殊な設定」であるという (オメガバースプロジェクト 2015)。オメガバースは、生物学的な性 (男女) の他に、 $\alpha$  (アルファ)、 $\beta$  (ベータ)、 $\Omega$  (オメガ) という性が存在し、誰でも妊娠できる設定である。まずはそれらの性の特徴を説明する。表 1 はオメガバースプロジェクト (2015) の情報をもとに作成したものである。

表 1 オメガバースにおける  $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\Omega$  の特徴

| 性               | 特徴  |
|-----------------|---|
| $\alpha$ (アルファ) | 生物学的特徴 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒート」という突発的な発情期がある</li> <li>・ヒート中の妊娠率は 100%</li> <li>・<math>\Omega</math> のフェロモンに反応してヒートが発生する</li> </ul> 社会的特徴 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が社会の 2 割である</li> <li>・大抵の <math>\alpha</math> はエリートであり、出世しやすい</li> <li>・血を汚さない価値観があるため <math>\alpha</math> 同士の結婚が望ましい</li> </ul>          |
| $\beta$ (ベータ)   | 生物学的特徴 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発情期がない</li> </ul> 社会的特徴 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口の 7 割を占めている</li> <li>・社会では一般人的な存在</li> </ul>   |
| $\Omega$ (オメガ)  | 生物学的特徴 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発情期があり、月に 1 回、1 回に約 7 日間</li> <li>・性フェロモンを持っている</li> </ul> 社会的特徴 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が最も少なく、1 割である</li> <li>・<math>\alpha</math> と <math>\beta</math> より劣る存在で社会からの偏見がよく見られる</li> <li>・発情期が治まるまで外に出かけることや仕事を中止するケースが多い</li> <li>・<math>\Omega</math> のための発情期抑制剤がある</li> </ul> |

さらに、オメガバースプロジェクト (2015) の説明によると、この設定の特徴は、 $\alpha$  と  $\Omega$  が「番 (つがい)」になることができるシステムであるという。この番とは、発情中に  $\alpha$  が  $\Omega$  のうなじ付近を噛むと番となり、 $\Omega$  は番の  $\alpha$  としか性交できなくなる。(オメガバースプロジェクト

ト 2015)

オメガバースをテーマとした BL マンガは 2015 年頃に商業出版が始まり、様々な物語が描かれている。例えば、いちかわ壱の『ただいま、おかえり』（ふゅーじょんぷろだくと 2016）では、サラリーマンの  $\alpha$ 、専業主夫の  $\Omega$  と 2 歳の息子の 3 人家族の話であり、性別の差別がある社会の中で家族の関係が深まっていくストーリーが描かれた。S 井ミツルの『めぐみとつぐみ』では、高校生ヤンキーの  $\alpha$  と  $\Omega$  の喧嘩から始まった話であり、気合で発情期を抑えた  $\Omega$  は結局本能に従ってしまい、敵であった  $\alpha$  と恋愛関係を持つようになった物語が描かれた。また、 $\alpha$  が攻で、 $\Omega$  が受であることが当然な世界にもかかわらず、逆のパターンの作品も存在する。ひもだQの『捨てないでマイヒーロー』は、 $\Omega$  が攻となり、 $\alpha$  が受になってしまったという下剋上物語である。以上の例から、同じオメガバースでも多様な作品が描かれてきた。

## 5. 考察

獣人を含め人外の作品に関して参考にできる学術研究が確認できないため、ここでは筆者の解釈を加えたい。人外は「人間ではない」というもので、登場人物は様々な姿があるため、受け入れ方は人によって異なる。例えば、上述の「獣人」の作品において、性行為のシーンがあり、それを好む読者と受け入れられない読者が存在する。好む人は、獣人は人間のような部分がありながら、動物の本能も残っているため獣人の性描写が人間同士のものより想像力に刺激を与えるのではないだろうか。人外は実際に存在しないものであるため、無限にある物語の展開の可能性を想像する力を作者や読者に与えることができると思われる。

次に、異世界の作品は別の世界に生まれ変わり、新しい人生を送ることができる設定である。異世界の作品の主人公は、大抵一般人であり、読者に身近で共感できる存在ではないだろうか。Levy (2021) は、異世界の儀式的なアプローチは主に読者が経験した社会の葛藤とそれに対する解決策に関係すると指摘している (p. 89)。以上のことから、異世界の作品は現実世界における不満を解決し、または実際に叶わない願望を叶えてくれる手段となっているのではないだろうか。

最後に、オメガバースの世界の社会構造を検討したところ、性別の差別があるのは現実社会における家父長制に似ていると考えた。家父長制は簡単に説明すると、男性が支配権を持つ社会構造のことである。また、オメガバースは男尊女卑（男性を優先し女性を軽視する思想）を連想させる。 $\Omega$  は主に生殖と育児といった役割の印象が強い。この  $\Omega$  の役割も男尊女卑の社会における女性の役割に似ているのではないだろうか。 $\Omega$  は生物学的な特徴で苦勞しながら、社会の差別にも苦しめられている。例えば、 $\alpha$  と  $\beta$  に見下されることや、発情期による就職や外出の困難などである。さらに、 $\Omega$  であるためセクシュアルハラスメントや性暴力などの対象になりやすいのも、一部のオメガバース作品に描かれている。他にも、オメガバースの世界では、男同士や女同士の恋愛、いわゆる同性愛は普通のこととして捉えられ、結婚や育児の様子が見られる。これは、同性愛が未だに議論となっている現実世界の中、同性愛者が奇異の目で見られずに幸せな日常を送る世界に憧れ、作品を通して表現しているのではないか。

## 6. おわりに

本研究では、BLの歴史を踏まえ、2010年以降のBLマンガに絞り、ファンタジー概念を用いた作品の様々な設定を検討してきた。一つ目は人間と人間ではない恋愛関係を描く「人外」、二つ目は新しい世界に生まれ変わる「異世界」、三つ目は男性でも妊娠可能な世界の「オメガバース」である。女性の想像から生まれてきたボーイズラブと、現実を超えるファンタジー世界の組み合わせにより、近年のBLマンガが多様化してきた。可能性が無限にあるファンタジー世界は、人生に不満を抱えた人のために現実から逃避する手がかりになっていると言える。また、オメガバースが家父長制や男尊女卑の社会を連想させるように、実際に存在しないファンタジー設定であるが、鏡のように現実社会の文化、人々の思想、価値観を反映している。さらに、将来に関する願望が表現できる場所とも言えるのではないだろうか。

### 参考文献

#### 書籍・論文編

- 石田美紀 (2020) 「少年愛と耽美の誕生—1970年代の雑誌メディア—」 堀あきこ・守如子編『BLの教科書』 pp. 18-34
- エスカンド・ジェシ (2022) 「異世界ものにおけるゲーム的世界の考察—テキストに見られる現代日本社会批判を巡って—」『人文×社会』2巻7号, pp. 39-53
- オメガバースプロジェクト (2015) 「オメガバースプロジェクトとは？」  
[http://www.comicbox.co.jp/omegaverse\\_project/about.html](http://www.comicbox.co.jp/omegaverse_project/about.html) (閲覧 2023年7月31日)
- 西原麻里 (2020) 「同人誌と雑誌創刊ブーム、そして「ボーイズラブ」ジャンルへ—1980年代～90年代—」 堀あきこ・守如子編『BLの教科書』有斐閣, pp. 40-56
- 西村マリ (2015) 『BLカルチャー論:ボーイズラブがわかる本』青弓社
- Levy, T. (2021). Entering Another World: A Cultural Genre Discourse of Japanese Isekai Texts and Their Origin in Online Participatory Culture. In M. Roth, H. Yoshida & M. Picard (Eds.), *Japan's Contemporary Media Culture between Local and Global: Content, Practice and Theory* (pp. 85–116). Berlin: CrossAsia-eBooks.

#### マンガ編

- 佐倉リコ (2018) 『オオカミくんはこわくない』KADOKAWA
- 羽純ハナ (2017) 『レムナント—獣人オメガバース—』フロンティアワークス
- エンゾウ (2014) 『不幸中のしあわせ』集英社
- となり雪見 (2021) 『異世界召喚!魔王がパパで俺がママ!?!』徳間書店
- 潜えむ (2021) 『Qにだけはなりたくない!! ~異世界転生したら姉のBL漫画の中でした~』ふゅーじょんぷろだくと
- いちかわ壱 (2016) 『ただいま、おかえり』ふゅーじょんぷろだくと
- S井ミツル (2018) 『めぐみとつぐみ』竹書房
- ひもだQ (2017) 『捨てないでマイヒーロー』リブレ

# 韓国と日本の小学校におけるいじめ態様の比較

## —新聞記事の調査から—

鄭眞溶 (JEONG Jinyoung)

(韓国・ソウル神学大学)

### 1. はじめに

2005年9月北海道滝川市の小学6年生の女の子が自殺したニュースを、韓国で読んだ。その記事を読んで以来、小学校でのいじめに関心を持つようになった。読売新聞(2005)に記載された自殺動機には「それはとても悲しくて、苦しくて、たえられませんでした。なので、私は自殺を考えました」とあった。記事で書かれていた自殺動機はまるで小学6年生が書いたとは思えなかった。一体どんないじめ様態が小学生を死に導いたのかが知りたくなった。そこで一つの推論に至った。学校は一つの小さい社会と言える空間であり、韓国と日本はお互い社会の中で生きる方法も違うため、きっといじめの様態にも相違点が存在するのではないかと考えた。

下田・寺坂・石津・大月(2021)によれば、小学校におけるいじめの学年認知件数は2012年を過ぎて急激に増加している。韓国の場合も2022年一次学校内暴力実態調査(2022)を見ると、学校級別被害応答率で小学校が最も高い数値を表していた。日本と韓国の両国の政府教育機関からの調査結果の通り、明らかに小学校の中でのいじめが存在している。しかし二つの資料を比較した表1を見ると、いじめの方法には相違点はさほど見つからない。韓国の分類法は日本に比べより、広い範囲で分類しているものの、双方の分類はほぼ同じであると見ることができる。いじめ態様の分類はパーセンテージで整理されており、ここではそれらの分類のみ紹介する。

表1 両国政府教育機関からのいじめ調査分類表

| 韓国      | 日本                                  |
|---------|-------------------------------------|
| ①言語暴力   | ①冷やかしやからかい, 悪口や脅し文句, 嫌なことを言われる      |
| ②仲間はずれ  | ②仲間はずれ, 集団による無視をされる                 |
| ③ストーキング | ③軽くぶつかられたり, 遊ぶふりをして叩かれたり, 蹴られたりする   |
| ④身体暴力   | ④ひどくぶつかられたり, 叩かれたり, 蹴られたりする         |
| ⑤サイバー暴力 | ⑤金品をたかられる                           |
| ⑥金品の要求  | ⑥金品を隠されたり, 盗まれたり, 壊されたり, 捨てられたりする   |
| ⑦性暴力    | ⑦嫌なことや恥ずかしいこと, 危険なことをされたり, させられたりする |
| ⑧強要     | ⑧パソコンや携帯電話等で, 誹謗中傷や嫌なことをされる         |

しかし、ただに数値データだけでは様態を詳しく知ることはできないのである。従って本研究では新聞記事を使い、いじめの様態の、より身近で詳細な部分を考察したいと思う。そこで

先行研究データにある割合、比率を使わず、日韓の新聞記事に掲載されたいじめ関連の記事を収集した。本研究は両国新聞記事からのいじめ様態について分析し、見えてきた共通点と相違点から、韓国と日本のいじめ様態の特徴を明らかにすることを目的とする。

## 2. 調査方法

調査は文献調査を主に行った。主なデータ収集元は新聞社のデータベースである。日本は読売新聞を選んだ。その理由としてはデータベースの利用がしやすかったのと、日本でも主要な大手新聞社の一つだからである。韓国は中央日報を選んだ。その理由としては政治的観点が読売新聞に近いのと、韓国でよく読まれている新聞だからである。調査対象の期間は、日本の小学生のいじめ認知件数が急激な上昇傾向を見せた 2012 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 までとする。

読売新聞のデータベースである読売歴史館で、キーワードは「いじめ、小学」にした。一般的な語彙としての「いじめ」、また「小学生」および「小学校」双方を検索できるように「小学」とした。一方、中央日報はデータベースの形式ではないが、オンラインで読売歴史館と同様の条件で調べることができる。キーワードは「학교폭력, 초등 (校内暴力、初等)」にした。韓国で一般的な語彙である「学校暴力」と「初等」で絞る。韓国では小学生を小等学生または小等生と呼ぶため、検索は「小等」とした。尚、全てのいじめ事件でなく小学生同士で起こったいじめ、学校内で起こったいじめの事件に絞った。尚、いじめの様態が得られる記事だけ収集した。そうして得られた情報から韓国と日本のいじめの様態や傾向を分析した。

本研究には記事を纏め、いじめの様態のデータを作るにあたって基準が必要である。その基準は①性的暴力、②身体的暴力、③言語暴力、④脅しや強要の四つに分けたいと思う。この四つの基準の中で最も曖昧である性的暴力は性に関わる全ての暴力を含めることにした。そのため、厳密には性暴力とは区別されるセクハラも、今回の分析にあたっては性的暴力に含まれている。身体的暴力はただ暴力を受けるだけではなく望まない身体の接触、身体の傷害を含めることにした。脅しや強要は、いじめの様態の類似していることから、ひとつにまとめることにした。尚一つのいじめ様態が複数の基準に重なるものに関しては、それぞれの基準に複数で計算することにした。

## 3. 結果

### 3.1 韓国のニュース記事

表 2 「両国のいじめ様態の分類別の件数」

|          | 性的暴力 | 身体的暴力 | 言語暴力 | 脅しや強要 |
|----------|------|-------|------|-------|
| 日本（読売新聞） | 0 件  | 14 件  | 14 件 | 6 件   |
| 韓国（中央日報） | 9 件  | 9 件   | 2 件  | 3 件   |

中央日報での検索では 4711 件の記事の中、基準を満たす 14 件の記事が得られた。14 件のうち性的暴力が 9 件、身体的暴力が 9 件、言語暴力が 2 件、脅しや強要が 3 件あった。そして集

団性が見られる記事は14件のうち、8件あった。韓国では性的暴力が多かった。しかし9件の中で3件は低学年（1~3年生）で、まだ性的な知識が不足である年齢で起こした特徴が見られる。身体的暴力もほとんどの記事で見られた。そのうち2件の記事では暴力というより拷問に近い態様を見せていた。2022年一次学校内暴力実態調査（2022）と一番違いが見られたのは言語暴力である。調査では一番多い態様を示していたのは言語暴力だったが、新聞記事ではたったの2件だけである。脅しや強要は3件あったが、いずれも、脅しや強要までで、金品を奪われてはいない。

### 3.2 日本のニュース記事

読売新聞での検索では4077件の記事の中、基準を満たす30件の記事が得られた。30件のうち性的暴力は0件、身体的暴力は14件、言語暴力は19件、脅しや強要が3件あった。そして集団性が見られる記事は30件のうち14件あった。日本は性的暴力が1件もなかった。

下田・寺坂・石津・大月（2021）の調査の中での「嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。」という基準に、性的暴力が該当する可能性は考えられる。しかし、記事の中にそれらは存在しなかった。でも記事の中では存在しなかった。身体的暴力はほとんどの記事で見られた。言語暴力は下田・寺坂・石津・大月（2021）の調査と同じく最も多く見られた。そのほとんどが、被害者を卑下することばや、プライドを傷つけることばを投げかけるものであった。脅しや強要は、実際に脅し・強要行為のみの事例もあるが、そのうち2件は実際に金品も奪われた。

### 3.3 韓国と日本のニュース記事の比較

性的暴力では韓国においてのみ9件の記事あり、日本は0件だった。性に関して保守的な韓国に対して相対的に開放的と感じる日本で、性的暴力が0件であることは、新聞記事を書く際の両国の考えの違いも影響しているのではないだろうか。下田・寺坂・石津・大月（2021）の調査でも正確に「性的暴力」という基準がないのもその理由の一つとも言える。直接的に「性的暴力」を見せないことで被害者の苦しみの記憶を呼び起こす機会をできるだけ抑えているとも考えられる。身体的暴力は両国とも態様では似た傾向を見せた。被害者の身体に直接暴力を加えたり、傷害を負わせたりした。韓国のいくつかの記事では、いじめを超え、拷問とも言えるような残酷さが、日本以上に見られた。一方、日本は被害者に骨折させる記事が何件も見られた。言語暴力は日本のほとんどの記事に見られた様態であったが、それに対して韓国ではあまり見られなかった。これは両国の言語文化の違いが現れているのではないかと考えた。悪口という概念は両国に存在するものの、悪口を受け入れる感情には違いがある。韓国語の馬鹿(바보・바보)と日本語の馬鹿は同じ意味であるが、受けるダメージの深さが違うのがその例の一つと言える。

## 4. 考察

### 4.1 性的暴力

データを調査し、最も独特と感じたのは日本の性的暴力が0件だったことである。下田・寺

坂・石津・大月（2021）からの調査の「嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。」といういじめ態様は日本でも一定数存在しており、そこに性的暴力も含まれる可能性があるため、日本の小学生の間には性的暴力が全く存在しないという断定はできない。よって、これは性的暴力に対する報道倫理の影響もあると考える。韓国記者協会（Journalists Association of Korea）のホームページの中には「性暴力犯罪細部勧告基準」が詳しく説明されている。その中で未成年者事件に関する実践強要では「言論は未成年者性犯罪事件を取材、報道するにあたって未成年者の人権に及ぶ影響を細心に考慮すべきである。」と詳細に書かれている。一方、日本ジャーナリスト協会（Journalists Association of Japan）には性的暴力に関する報道倫理を見つけることができなかった。それでも、なぜ韓国に比べ日本は性的暴力のニュース記事を出さないのか。男女共同参画局の調査によると異性から無理やりに性交されたことがあった女性のうち、被害について「どこ（だれ）にも相談しなかった」者は67.9%で6割を上回っていることが分かる。本論文で定めている性的暴力がただ強姦だけを示してはいないが、性的暴力の被害を受けても、誰にも相談していないケースが多いことがわかる。社会で目立ちたがらない日本人の気質からすると自分の息子や娘の性的暴力に対する被害を記事に載せて公にするのはとても拒否感を感じるだろう。韓国では9件も性的暴力があった。その中、重大性が見られる事件は多く小学生の低学年（1～3年生を示す）同士で発生した。Jeong, Yang & Kim（2007）は小学校の低学年生は個人の性知識の程度が多様で、間違った情報や正しくない性に対する認識を持つことがあると話している。故に、まだ性に関する正しい価値観や知識が形成されていない状態で起こったと言えるだろう。

#### 4.2 身体的暴力

身体的暴力は両国に共通して最も多く占めている暴力である。韓国はいじめを超え拷問のような様態を見せる事件が数件存在し、日本は骨折させるなどの酷い傷害を与える事件がいくつかあった。大概は殴る、蹴る、のような似た様態を見せたのである。また集団性についても着目したい。両国ともに身体的暴力に関して高い集団性を見せた。つまり、身体的暴力を加える時、一人ではなく二人以上の複数人で体的暴力を振る舞ったのである。日本は韓国よりは個人主義の傾向があり、暴力でもあまり集団性を見せないという印象を持っていたが、韓国と同等の集団性を見せた。何故こんな高い集団性を見せるのだろうか。加害者達は自分と一緒にいじめをする追従者を集めるという（최항석 2021）。主導者を中心に追従者が集まる理由は中和理論により、集団を形成することによって罪意識が薄くなり、さらに大きい勢力を作り、阻止しようとする第三者への管理も容易になるからである（나이토 아사오 2009; 이보경 2018）。つまり、集団で行う暴力に対する加害者の罪意識そのものが集団により薄くなる。それが残酷な身体的暴力が行われた理由のひとつと言えるだろう。

#### 4.3 言語暴力

言語暴力に関しては、言語的文化によると思われる違いが見られた。調査の中で日本では言語暴力が身体的暴力と同じく14件発生し、言語暴力による自殺がとても多かった。しかし、韓国では言語暴力様態が3件しかなく、言語暴力による自殺はなかった。日本の言語暴力で使わ

れた言葉としては「嫌だ」、「うざい」、「死ね」、「名前+菌」などがあつた。でも韓国人から考えるとこれらの言葉を聞いて自殺まで至るといふのは納得しにくい。国立国語院（2016）の調査から韓国の青少年達の70%が暴力的な言葉を日常的に応答しているし、また半分以上が親しい関係では俗語を使つてもいいと答えた。韓国には日本と比べ、意味が過激な言葉（単語単位）が多く存在する。そのため、上にある日本の暴力的な言葉にはあまり反応しないのである。つまり、暴力的な言葉を聞くことに対して、大きなダメージは受けないと言える。もちろん、親しくない間柄で言われた場合、気分を害し落ち込むことはあつても、日本の暴力的な言葉を聞いて自殺するのは難しいと思う。一方、日本は暴力的な言葉を日常的には使わない。そして韓国のように暴力的な言葉があまり発展していないので、過激な言葉が多くは存在しない。よつて、言語暴力に対して、ダメージを受けやすいのではないか。

#### 4.4 脅しや強要

脅しや強要は両国ともに似た様態を見せた。脅しや強要をするとき、韓国は被害者に嫌なことをさせたりした。これはまるで加害者にとってはただの被害者はおもちゃのようだった（최항석 2021）。韓国はなかったが、日本では脅しや強要の目的が金銭要求であることが多かった。本研究での脅しや強要のデータはあまり多くなかつた。何件か存在するものの、このデータだけで一般化するのには難しいと思う。

#### 5. おわりに

両国のいじめ様態の分類では思ったより大きな違いは存在しなかつた。しかし、その中に小さいものの、確かに様態の違いは見えたのである。韓国は性に対して保守的だと思ったが、記事の中では性的暴力の記事が多かつた。一方、日本は韓国より性に対して開いた考えをもつているものの、性的暴力に関する記事はなかつた。それは性暴力という繊細な問題に対する両国の報道姿勢、そして日本人の気質的特徴で性的暴力の記事がなかつたと思える特徴があつた。身体的暴力は両国も似た様態を見せた。また高い集団性を見せ、集団による罪意識が薄くなる特徴があつた。日本では、言語暴力による自殺率に高い数値が見られた。その要因として、言語文化に着目して考えると、韓国と日本の暴力的な言葉を使う頻度や発展の程度に違いが存在するという特徴があつた。本研究での結果で韓国と日本のいじめの様態を深く調べることができ、さらにその中で様々な特徴を探ることができた。しかしながら全てのいじめ様態が被害者にとっては非常に厳しく苦しいものであると考えられるため、この容態の中から一つを特定し、小学生を死に導いた要因と断定することは難しかつた。

本研究では両国合わせて 8000 以上の新聞記事を読んだが、定めた基準に該当する新聞記事は 44 件しなかつた。そして研究対象とした新聞社は 1 社のみだつた。故にデータが十分ではなく、この検査結果のみで韓国と日本のいじめ様態を一般化するには限界があつた。さらに広い範囲の分析と様々な要因を考慮し、研究することが今後の課題である。

## 参考文献

- 下田芳幸・寺坂明子・石津憲一郎・大月友 (2021) 『文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における暴力行為といじめの件数および割合の推移』文部科学省, pp. 351~352
- 男女共同参画局 (2012) 「平成 24 年版男女共同参画局白書『被害の相談先』」本編、第 3 章、第 12 図 [https://www.gender.go.jp/about\\_danjo/whitepaper/h26/zentai/html/zuhyo/zuhyo01-03-12.html](https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/h26/zentai/html/zuhyo/zuhyo01-03-12.html)
- 日本ジャーナリスト協会 <https://j-aj.jp/>
- 読売新聞 (2005) 「小 6 女児、教室で首つり 意識不明の重体／北海道・滝川」(2005 年 9 月 11 日) 東京朝刊, 39 ページ, 読売歴史館 <https://database.yomiuri.co.jp/rekishikan/>
- 국립국어원 (2016) 청소년 언어문화 실태 연구, p12 国立国語院 (2016) 「青少年言語文化研究」 p. 12
- 나이트 아사오 (2009) 이지메의 구조 (2013) 고지연 역 서울 한얼미디어 内藤朝雄 (2009) いじめの構造」韓国語版 (2013) Haneol Media 出版
- 이보경 (2018) 트라이앵글의 심리 서울 양철북 이・보ギョン (2018) 「트라이앵글의 心理」YangchulBook 出版
- 대한민국교육부 (2022) 2022 년 1 차학교폭력실태조사결과발표 <https://www.moe.go.kr/boardCnts/viewRenew.do?boardID=294&boardSeq=92500&lev=0&searchType=null&statusYN=W&page=1&s=moe&m=020402&opType=N> 学生支援局学校生活文化科 (2022) 「2022 年一次学校内暴力実態調査」教育部, p. 3
- 최항석 (2021) 학교 내 집단 괴롭힘에 관한 구조적 분석. 미래교육연구, 11(4), 175-196. Choi, Hang-Seok . (2021). A Study on the Structural Analysis of the Group Bullying in the School. *The Journal of Future Education*, 11(4), 175-196.
- 한국기자협회 성폭력 범죄 보도 세부 권고 기준 [https://www.journalist.or.kr/news/section4.html?p\\_num=9](https://www.journalist.or.kr/news/section4.html?p_num=9) 韓国記者協會「性暴力犯罪報道細部勸告基準」
- Jeong, G. H., Yang, S. O., & Kim, S. J. (2007). Teachers' Needs Analysis About Contents of Sexual Education for the Lower Grades of Primary School. *Journal of Korean Academy of Women's Health Nursing*, 13, 35-42.

## 2022年度 日本語・日本文化研修留学生

| 氏名                                 | 出身大学             | 受入教員                        |
|------------------------------------|------------------|-----------------------------|
| 1 宋蕙旻<br>(SONG Hyemin)             | 漢陽大学校<br>(韓国)    | 菅谷奈津恵 教授<br>(高度教養教育・学生支援機構) |
| 2 サーサイ・カーンチャナー<br>(SASAI Kanchana) | タマサート大学<br>(タイ)  | 菅谷奈津恵 教授<br>(高度教養教育・学生支援機構) |
| 3 バイラム・アイセル<br>(BAYRAM Aysel)      | アンカラ大学<br>(トルコ)  | 小泉政利 教授<br>(文学部)            |
| 4 鄭眞溶<br>(JEONG Jinyoung)          | ソウル神学大学校<br>(韓国) | 小松丈晃 教授<br>(文学部)            |

2022-2023 日本語・日本文化研修留学生報告書  
日本語・日本文化レポート集

2023年9月発行  
東北大学高等教養教育・学生支援機構  
言語・文化教育センター

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 41  
URL: <http://www.ihe.tohoku.ac.jp/SJLE/>